

2015年
クイーン倶楽部だより 8月号
第150号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



新潟薬科大学とのコラボレーション 第1段

〇鯛ノ目〇 希少な大豆を使って
〇赤莢〇 味噌づくりに挑戦!

新潟薬科大学の新学科「生命産業創造学科」は、食品ビジネスで活躍する人材を育成する学科です。

エコ・ライスは授業の一環として、米づくりの指導や甘酒のプロデュースなど、お手伝いをしてきました。

今回、甘酒でもお世話になった(株)峰村商店とのコラボレーションで、希少な大豆を使った味噌の製品化を目指しています。

“どうせ作るなら原材料から”と、「鯛ノ目」と「赤莢」という現在では栽培されていない大豆を譲り受けましたが、分けてもらったのは僅か20粒。貴重な20粒を3年間かけて増やし、学生が4年生になる2018年に味噌を醸造する予定です。

20粒ずつしかない大豆はとても貴重。ポットで発芽させてから、阿部さんの畑を借りて定植。10月下旬には第1陣の大豆が出来上がる予定です。



中村 信也 (なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

ドクター “N”の 私にも一言言わせて

その4

※ドクター…英語で博士の意味

国土防衛

国を他国からの侵入から守ることを自衛といいますが、国際法上「個別的自衛権」は認められています。国会で論ぜられる防衛問題は憲法9条の解釈に終始しています。国民は自衛論争を難しいと認識し興味を示しません。防衛論争は、軍隊も置かず何も示さない、自国だけで守る、他国と組んで守る、の3選択肢しかないです。どれにするかだけです。早々に各政党はあるべき論を持ち出し、選挙でどれにするか決めてもらうしかないです。

私が今回防衛問題を持ち出したのは、防衛論争がずっと9条問題で中身が進まないのどこに近代防衛論を提案したいからです。

国を守ることを「国土防衛」とすれば、「侵略防衛」があり、さらに大災害から守る「災害防衛」もあることです。国土防衛を「侵略防衛」と「災害防衛」の二本柱として一刻も早く充実してもらいたいということです。

自然大災害後で自衛隊出動は必須ですが、その出動スタイルに驚かされます。隊員が白作業手袋にスコップを担いで行進しています。神戸震災では何も持っていない隊員が行進していました。がれきや土砂除去は人海作戦で一つずつ取り除きますので、遅々として進みません。お任せあれと探索犬と最新機器の出現は無縁の世界です。東北大震災では大型ブルドーザーとヘリで直ちに道路確保すべきでした。孤立した島に橋が設置されたのはその好例です。

軍隊と土木工事は一体化しています。先の大戦では米軍のブル投入で兵力に歴然の差が生じ、大敗退しました。その反省を踏まえ、世界的に大災害が発生するに稀有な国土の防衛を図ってもらいたいのです。大災害対策は最新機器で臨んでゆくべきです。